

# 市政を問う！

## 一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、18人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。(2月中旬掲載予定)

**問** 道路の振動被害の対応は。  
**答** 周辺の聞き取りや、路面損傷の状態を確認し、修繕を行っている。上下水道施設や電気、通信施設などのマンホール等が振動源である場合、道路占用機関に是正措置を依頼しており、振動の改善が図られるケースがほとんどである。

### 道路振動の測定・被害対応

「振動規制法」「公害紛争処理法」の規定を順守  
参照：「振動に関する苦情への対応」公害等調整委員会



**問** 用途地域、建蔽率・容積率、長期にわたり未着手の都市計画道路について、変更の可能性は。  
**答** 計画について分析を行っている段階であり、現時点では考えていない。

### 立地適正化計画策定後のまちづくり

**問** 近隣市町の対応を参考にしながら研究していきたい。  
**答** 近隣市町の対応を参考にしながら研究していきたい。

### 防犯灯の事業者負担

**問** 開発行為等指導要綱第19条で、防犯灯について事業者の負担としているが、従わなければならない法的根拠は。  
**答** 法的根拠はないが、事業者に指導している。



マルシェで会話も弾む

**問** 後継者育成に対する支援は。  
**答** 営農団体に対する補助金の交付や、土壌消毒剤購入費補助金、生分解性マルチフィルム利用推進事業など幅広い営農支援を行っている。今後もJ A いるま野等と連携し、国や県の補助事業の情報提供を行っていく。

**問** 新規就農支援の取り組みは。  
**答** 国や県の支援制度の案内や農地利用意向調査の結果をもとに、農地のマッチングを行っている。また、新規就農へのきっかけ作りを目的に市民農園や農業入門塾を開設している。

### 持続可能な地域の農業



### 道路の振動被害への対応と測定

坪田 敏孝 議員



### 高齢者の居場所づくり

加藤 恵一 議員

## 連載企画 事業者へ聞く

## 最先端技術のドローンで物流を変える



曾谷 英司さん

国産ドローンの技術開発を進め、物流など様々な社会問題の解決を目指す事業者に話を伺いました。

**Q** 事業の内容を教えてください。

**A** 外国産ドローンが主流のなか、国産ドローンの開発及び販売を中心に事業を展開しています。

**Q** 強みはどのようなところですか。

**A** 当社はドローンの販売だけではなくソリューションの提案・開発やシステムサービスといった最先端技術を総合的に提案しているところが強みだと思っています。

**Q** ドローンの実用例とこれからの課題は何ですか。

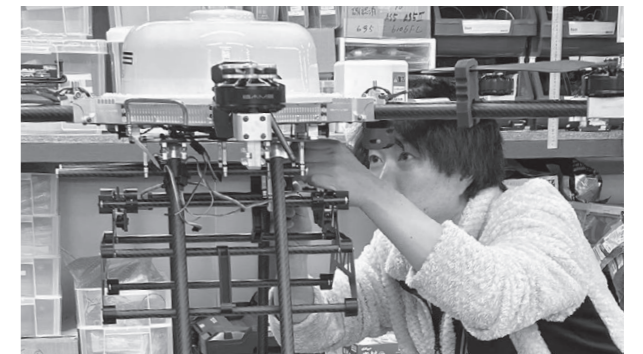
**A** ドローンの可能性は多様で、遠隔での離島や被災地域などへの物流、農業、測量、調査点検など幅広いのですが、実用化するまでには安全上の国の規制をどうクリアするかという課題があります。

**Q** 市へ何かご意見はありますか。

**A** 市内にドローンのフライトができる場所があるといいなと思います。

**Q** 市民へのメッセージをお願いします。

**A** 市内にドローンの最先端中の最先端の会社があるということ、みなさんに知っていただきたいし、できれば使っていただけたらと思います。



ドローンを新しい物流手段に

## 総務・教育常任委員会視察調査報告

### 部活動の地域移行と子どもの金銭教育を学ぶ

総務・教育常任委員会で11月7日及び8日の日程で、富山県南砺市及び黒部市を視察研修しました。

部活動の多様性の確保と教職員の多忙の解消を図るため先進地を視察した。

南砺市では部活動の拠点校化・地域移行に取り組んでいる。メリット・デメリットについて学校教育と社会教育の観点から学んだ。

また、黒部市では金銭教育を導入した小学校の授業の取り組みを視察研修した。取り組みの一例として、授業で野菜の栽培、収穫、販売までの一連の流れを体験、オンラインで日本銀行を見学・学習、全校集会でお金に関するクイズを実施するなど、様々な取り組みを行っていた。

どちらの視察もふじみ野市にとって、重

要な課題として今後取り組む必要性を感じ、有意義な視察となった。

先進地での行政視察の経験を今後の市政運営についての政策提案として生かしていきたい。



## ギカイの動き